

いなみ町

議会だより

No.54
2012.7



6月定例議会 「第7回どろんこまつり」

議案審議	P2～P3
一般質問「ここが聞きたい」8人が登壇	P4～P11
常任委員会報告	P12～P13
ワークメイト印南の紹介・あとがき	P14

6月定例議会

6月7日から15日まで開かれました。今議会では、平成24年度の補正を中心に19議案を審議し、原案通り可決しました。一般質問は8人の議員が登壇しました。

平成24年度一般会計補正予算

3月議会で可決された平成24年度の一般会計予算（43億4,017万7千円）に対して1億1,403万1千円の補正予算が提案されました。

— 全員賛成で可決しました —

この補正予算に対する各議員の質問

【質問】
今回の補正予算に盛り込まれた町長の主な政策は何ですか。

【町長】
防災分野で避難道路の整備、橋の耐震化、印南地区の内水面の調査のための予算を計上しています。

【質問】
防災関連で6,180万円が計上されておりますが、内容の説明を求めます。

【総務課長】

避難路の測量設計委託料で5ヶ所、橋の耐震化設計委託料で5橋をそれぞれ予定しています。

【質問】

農林水産業費の中に「林業振興費」として産業振興団体への補助金が2百万円計上されていますが、内容説明を求めます。

【産業課長】

森林組合への補助金です。森林組合は現在、経営がきびしくなっており、合併までの間、最低限の経営を維持するため補助するものです。

【質問】

印南小学校へライフジャケットを整備するための費用として205万9千円が計上されていますが、特に低学年は着用に時間を要するなどの問題も生じますが、学校側と教委できちんと協議はできていますか。

【教育課長】

県事業を活用しての実施です。もちろん安全対策としてはこれが全てではなく、訓練はもちろん、他の分野の対策も取り組みながらの対応です。

【質問】

農林水産業費の林業振興費の中に「山のめぐみ活用事業補助金」として380万円の計上がありますが、内容について説明を求めます。

【産業課長】

ワサビ田の改修と復興に関する事業です。

【質問】

教育費の中で「実践的防災教育総合事業」の内容はどういうものですか。

【教育課長】

生徒と教師がともになって実施していく事業で、すべての学校で取り組みます。

緊急地震速報の受信機の取付事業費や学校長の被災地学校への研修費などです。

【質問】

水産業費の中に漁港維持費として、漁港内の土砂を取り除く費用の6百万円が計上されていますが、印南漁港の整備事業であり、金額、漁業振興基金を財源として実施してはどうか。

【総務課長】

昨年の台風災害と関係があり、町費で半分、基金から半分の予算計上しています。

【質問】

歳入予算で不動産売却収入「久保町有林間伐材売却収入」として364万3千円が増額補正され予算累計が684万3千円となっています。

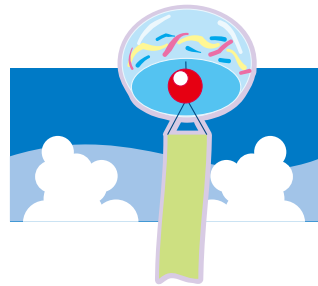
不動産の売却金額が700万円を超える場合は、議会の議決を要することとなりますが、今回の予算の説明を求めます。

【総務課長】

当初、間伐材の収入を320万円計上していましたが、今回、来年度分の前倒しをすることにより364万3千円を増額補正し、収入合計684万3千円

としたものです。

700万円を超える場合には議会の議決が必要ですので、その時はもう一度森林組合と協議して議会上程していきたい。



3名の教育委員会委員の任命を同意しました。

岡本公夫氏
岡本徹士氏
脇野かほり氏

3件の工事請負契約を議決しました。

- ・印南原簡易水道統合事業
導水管布設（1工区）工事・・・美里地区の取水地～^{みやま}深山峠間
契約金額 75,820,500円（落札率 94.98%）
契約相手 有限会社 新紀建設
- ・印南原簡易水道統合事業
導水管布設（2工区）工事・・・^{みやま}深山峠～正覚寺間
契約金額 84,703,500円（落札率 94.99%）
契約相手 有限会社 杉本組
- ・印南原簡易水道統合事業
導水管布設（3工区）工事・・・正覚寺～印南原浄水場口
契約金額 69,615,000円（落札率 94.94%）
契約相手 株式会社 第一電工印南支店

その他の議案（以下の議案を議決しました。）

- ・専決処分5件
 - ①平成23年度印南町一般会計補正予算（第10号）
 - ②平成23年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
 - ③平成23年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
 - ④印南町税条例の一部改正
 - ⑤印南町国民健康保険税条例の一部改正
- ・条例5件
 - ①町長の給与の特例に関する条例の制定について
 - ②職員の給与に関する条例の一部改正について
 - ③印南町印鑑条例の一部改正について
 - ④印南町手数料徴収条例の一部改正について
 - ⑤印南町分課設置条例の一部改正について
- ・和歌山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- ・町道路線の認定について（2路線）



一般質問

風力発電施設設置計画に対する町の考えは

榎本 一平 議員

質問 現在、和歌山県

下で8ヶ所で56基が稼働し、その発電能力は7万5,310kwとなっております。

日高郡では由良町で稼働しており、騒音や低周波音被害が発生し、住民生活が深刻な事態になっております。

印南町では櫻川に2千Kwを最大13基、高城山^{たがしきん}は2,300Kwを最大6基の計画がありますが、これらの計画に対して町はどのように考えますか。

答弁 総務課副課長

櫻川の計画は環境影響調査を実施し、5月31日から環境影響評価準備書の縦覧を実施しています。高城山の計画は環境影響調査を実施中で、津井、印南原、

山口の3地区の役員、区会議に対し計画の説明会を実施しました。

地域住民に危害が及ぶ恐れのあるような事業は町として推し進めていくという考えはありません。



御坊市南塩屋の「森岡産廃」計画に対しキツパリと「反対」の表明を

質問

御坊市南塩屋の森岡地区に大栄環境株式会社^{たいせいの}が25万7千㎡の事業面積の中に6万5千㎡の最終処分場と8千㎡のリサイクル施設を持つ産業廃棄物管理型最終処分場の建設を計画

しています。

この計画に対し、切山、南谷、明神川で「中止を求め」署名が166名集まっています。また、塩屋町では地区全体で65%の世帯から「中止を求め」署名が集まっています。

県に対し町長は、この計画に対し「意見」を上げなければいけません。住民の不安を受け止めキツパリと「反対」の意思表示をすべきではありませんか。

答弁 町長

住民の環境保全に対する不安に考慮し、説明責任と不測の事態が発生した場合には誠意のある対応を県から事業者に指導することを盛り込んだ意見書にします。

梅の不作の現状と農家への影響はどうなるか

答弁 産業課長

町の栽培面積は約277ha、栽培農家数は約420戸です。収穫量は昨年の約65%ほどになるのでは、との報告を受けており、価格は1.5倍から2倍近くの価格がついています。

質問

梅の栽培面積はみなべ町について印南町となっておりますが、今年は天候不順や受粉不良などが影響した不作状態となっております。印南町の不作の状況はどうなっていますか。これに伴う農家への影響はどのようになっていますか。

国、県の補助金として活用し、36haの樹勢回復等実施して根本的な施策に向け行政として対応したいと考えています。



① 庁舎移転について

質問 役場庁舎移転計画凍結について、第1回の委員会を開催したとの事ですが災害復旧活動の拠点となる庁舎の高台移転は、必要不可欠であると考えますが、どのような進め方をするのかお聞きいたします。

答弁 総務課副課長
印南町役場庁舎建設検討委員会が発足いたしております。

今後は、当委員会において、庁舎の建設位置、庁舎の規模、施設内容等について、協議検討を重ねていただいで、町民の納得いただける様な庁舎建設を目指してまいります。

② 避難道路の整備について

質問 避難道路が断たれ、逃げることでできない地域が多く見受けられます。

少しでも素早く避難できる道路の整備は、急務だと考えますが、どのような計画をされているのかお聞きいたします。

答弁 総務課長

平成22年3月策定の印南町地域防災計画に基づき、災害時に安全な避難ができるような整備をしていきたいと考えております。

再質問 避難道路だけでなく、橋梁耐震化は、

橋が崩れたりして、避難の妨げや孤立化を防ぐため必要不可欠であるかと

考えますが、どのような対応をされるのかお聞きいたします。



答弁 建設課長

印南地区、切目地区の5橋の耐震化を図るために、有利な緊急防災事業債を活用しながら対応していきたい。

特にマリノパーク大橋第2ですけど、橋が落ちればマリノパークの住民の方々が逃げ場を失うというふうなことも重々検討し、早急に道路橋の耐震化事業を進めていきたいと考えています。

③ 避難タワーについて

質問 浜地区の避難タワーの見直しが必要であると考えますが、いかがですか。

答弁 総務課長

今後は津波により浸水予測エリアへの避難タワー建設につきまして、慎重に対応していかなくてはならないと考えております。

町道道路整備について

質問 管理は町にあると考えますが、どのような対応策を講じるのかお聞きします。

答弁 建設課長

地域住民にとつては、大切な生活道路であります。安全対策上必要な措置を講じるべき事案につきましては、今後検討していきたいと考えています。

防災対策を問う！

玉置 克彦 議員





一般質問

庁舎移転及び防災について

藤薮 利広 議員

自主防災会

質問 災害の形は津波、水害、土砂災害それぞれ地域によって違いがありますが、防災会に対する町の考え方を教えてください。

答弁 総務課長

今年から自主防災会で、災害に向けた取り組みを実施して頂きたいと言うことで会議を開催していく予定です。

備蓄食糧

質問 備蓄食糧についての町の方針についてお聞きします。

答弁 総務課長

食料の備蓄については1人3日程度の量を町が準備しておくものであ

ると考えます。方法については、自主防災連絡協議会総会に提案し、それぞれ地域の自主防災会の意見を参考に決定したい。

アークライト

質問 アークライトの今後の利活用と購入計画についてお聞きします。

答弁 総務課長

平成24年度コミュニティ助成事業を活用して購入するものです。これは夜間の消防や防災活動に利用していきたい。また、今後必要があれば、有利な事業を活用して増設していきたい。

避難道路の予算

質問 避難道路整備につ

いて、予算の確保はできていますか。

答弁 総務課長

避難道路整備測量設計委託料880万円を計上。緊急防災減災事業で実施する予定です。

再質問 印南を例にしますと、浜西地区は上野山、要害山へ逃げることも可能です。

浜東地区に至っては避難タワーぐらいしか高いところはないと思います。が、避難路は歩いて逃げるような道路なのかそれとも車で逃げられる道路を考えているのか。

答弁 総務課長

印南橋の落橋防止に対策を講じていく考えです。狭い路地がたくさんあり、その道を広く



庁舎の代替施設

することはすぐには出来ないのですが、ブロック塀などが壊れないように県単事業を活用し対策を講じたい。

質問 あげぼの交流センターを庁舎の代替施設としている考えについてお聞きします。

答弁 総務課長

役場庁舎が災害対策本部として機能が発揮できない場合は、対策本部として活用できると考えています。昨年

現庁舎の機能維持

質問 現庁舎の機能維持についてお聞きします。

答弁 総務課副課長

重要なシステム、情報の保持に努めます。また必要最小限の維持修繕で対応していきたい。

は職員による災害時の図上訓練で、あげぼの交流センターを災害対策本部と想定して訓練を行いました。



質問①

京都府亀岡市での集団登校の列に車が突っ込む事故、大阪市では学童保育へ向かう途中の事故と、児童が犠牲となる事故が相次いだことを受け、児童及び園児の登下校時の安全対策をお聞きいたします。

答弁 教育課長

5月29日に学校関係者、いなみこども園職員、セーフティガードや保護者、また、町内駐在所の警察官、スクールバス運行委託業者で通学路の安全対策協議を行い、6月1日には児童生徒の二斉通学時見守り活動を実施しました。

再質問 集団登校は長蛇の列となり、一旦事故

が起きると多くの犠牲者がでる危険性が高く、

児童数が多い地域については少人数化による列の分散を検討してはどうでしょうか。

答弁 教育課長

今後、少人数化の検討を重ねて安全確保に努めていきたい。

質問②

修学旅行出発時に起こしたバスの物損事故を教訓に、今後の校外活動等のバス運行に対し事業者へ安全確保策を求める必要はないでしょうか。

答弁 教育課長

校外活動時の安全確保に今一度危機感を持つて対応していきたい。

真妻わさびの里復興事業の実績、成果について

質問 印南の誇れる産物

「真妻わさび」の復興に取り組んだ「真妻わさびの里復興事業」を終えて、その3年間の実績、成果についてお聞きします。

答弁 産業課長

事業実施により、今後のわさび復興への栽培知識を得ることができました。

また、真妻わさびは、全国的に抜群の知名度があり、この産地復興の取り組みは印南町をアピールする大きな事例となりました。

今後この事業で得た知識をより生かし、印南の真妻わさびの里の復興を推進していきたいと

考えています。



財産管理の適正について

質問

切目川地区の町有地において実施してきた試験事業は、平成23年度で終了しているが、4月以降も施設を撤去

答弁 総務課長

事業が終了したということに伴い、今ある施設等については、更地にしていただくよう申し出ています。早急に対応策、対応をとっていきたいと考えています。



児童及び園児の安全確保について

井上 孝夫 議員



一般質問

副町長の選任について

岡本 庄三 議員

質問 副町長をおくことについて、どのような方針をおもちなのか。

3月議会での提案は困難であったとしても、この6月議会では提案されないのか。次の9月議会には人事案件を提出されるのか、このまま空席でいくのか、どうされるのでしょうか。

答弁 町長

副町長は、おかなければいけないと考えております。

9月に決定するということのような具体的なことは、まだ考えておりません。

議会の同意も頂く必要があり、慎重に取り組んでいきたいと考えております。

**改めて
所信表明を聞いて**

質問

これまでの町長の行政運営を拝見しますと、訴えられた所信の一端と現実の行政運営がかけ離れているように思います。例えば、取り組みスピードが極めて遅いため、実行するための財政計画が立てられない。行政の課題を住民に丸投げすることが、住民目線の町づくりであるとは勘違いされている。一番大事なことは、町長がリーダーシップをもつて判断力を発揮することだと思えます。

このままでは、町長の五つの思いは実現不可能と私は思う訳でありませんが、町長は実現できる自信、確信はおもち

でしょうか。
また、現時点で町長は最重要課題を何と捉えていますか。

答弁 町長

就任してまだ4ヶ月足らずであり、与えられた任期中の成果を今の時点で表現することは、困難であります。所信として申し上げましたのは、私の目標でありませんが、全てであるとも思っておりません。また、全てを達成出来るものとも思っておりません。

議員の皆様をはじめ多くの皆様からのご意見、ご要望、ご提案をお聞かせ頂き印南町発展のため誠心誠意努めて参りたいと考えています。

最重要課題につきましては、防災対策に取



組むこと、中でも避難道整備に早急に着手していきます。

**国民健康保険の
税率改正を問う**

質問 国民健康保険税の税率改正について、基本的な考え方をお聞かせ下さい。

答弁 町長

被保険者の負担増は避けて通れない。来年度から税率を上げる考えです。





質問 町長の諸般の報告の中に、2015年に開催される紀の国和歌山国体を起爆剤としたスポーツの振興をうたわれていましたが、スポーツ振興だけではなく、ロードレースが予定されている黒潮フルツライン周辺の整備を図り、第一次産業や観光産業などの発展につなげられる方法は考えられないでしょうか。

より、展望所を設置していただいております。また、毎年実施しているいなみ豆マラソン会場もこの一画にあります。このようなことを考慮して、観光、地域振興、スポーツ会場整備など、広域的な視点で周辺整備を検討していきたいと考えております。

答弁 産業課長

今回設定された自転車会場には、切目川沿いから櫻川にかけての田園地域や山腹を縦断する田舎の風景が感じられる地域です。沿線には印南ふるさとお参りコースの「ほころ」などがあり、櫻川の山頂には地元の方々のご努力に



質問 ロードレースが予定されている黒潮フルツラインを含めたコースについて、単に国体のため、将来を考え、公認コースとして申請してはどうでしょうか。

答弁 教育課長

公認コースといった指定は別段ありませんが、国体の実施コース、全日本自転車連盟が認めたコースの1つとなり、実績が残り、今後の自転車競技のロードレース大会の候補地として名が挙がるものと確信しています。

国体が終わっても各大会が開催できるよう、情報を発信するとともに、アンテナを高く上げて情報を収集に努めます。

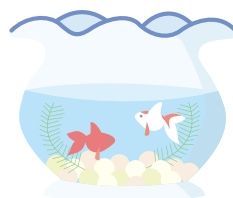
防犯灯のLED化について

質問 防犯灯の設置については、各区で本体を負担していますが、区の会計事情もあり、十分な地区もあると聞いております。

の財源の裏づけができません。また既設の防犯灯についても補助等セットで考えていきたい。

今後、省エネ事情などを考え、LED化を促すはと考えますがいかがでしょうか。

今後、省エネ事情などを考え、LED化を促すはと考えますがいかがでしょうか。



答弁 住民福祉課長

新設の場合につきましては、器具の設置代等

和歌山国体を地域活性化へつなげよう！

西山 徹 議員





一般質問

自然災害から生命財産を守る対策は

廣野 英幸 議員

質問 各自主防災組織の防災対策の活動は。又、町内一斉の訓練は。

答弁 総務課長

沿岸地域は津波ワークショップを開催し、避難訓練を実施します。

中山間、山間地域は危険個所の確認及び対策・検討を行い、避難訓練を実施します。

また全ての自主防災会において、アンサーバック機能による双方向通信の通信訓練も計画しています。

再質問 災害発生と同時に正確な情報を提供してもらうことがいちはばん減災につながるのでは。

答弁 総務課長

現在防災無線と個別受信機で行っているが、

聞き取りにくいという意見もあることから、県の方でも携帯電話のメールで受信できるということで、自主防災会で設定の方法など指導していきたい。

質問 中山間地域の急傾斜地崩壊対策事業状況は。

答弁 建設課長

国の事業は、古屋地区が本年度完了予定。大白河地区が工事着手。櫻川地区が測量設計、蔵野地区は要望している。

県単独事業は2地区継続工事中で、17地区が要望している。

再質問 山崩れによって

家屋の倒壊が考えられます。国や県へ強く要望します。

では。

答弁 建設課長

当然、町としましても県に対して強く予算確保事業のスピーディさを求めていきたい。

質問 土砂災害危険マップを作成されていますが、土砂災害の対応は。

又、山林の整備はどのように考えていますか。

答弁 建設課長

土砂災害の危険箇所は崖崩れ、土石流、地滑り合わせて632ヶ所です。国、県の事業を活用し、ハード整備を推進していきたい。

答弁 産業課長

森林整備は大変重要です。今後森林の荒廃



防止や治山の観点から、利害関係者による森林整備のみではなく、行政の一定支援も考慮した施策を実施して行きたい。

答弁 産業課長

生産地が見える地域ブランド化を高める取り組み等も含め多岐にわたり取り組みたい。

農業振興について

質問 町長の所信表明

では、「新たな販路開拓や特産品開発により、農業経営の安定化に取り組み」とありますが、どのように計画されていますか。

答弁 町長

今ある産物を大切に育てて行くことは大事であると思います。今後JA、各種団体と協議した中で、是非参加させていただきたい。



防災について（津波・地震対策）

村上 誠八 議員



マリパーク大橋第2

質問 避難路の整備及び橋の耐震化事業について、整備内容及び生活路の狭い地域対策やこれからの整備事業方針を伺います。

答弁 総務課長

16年のワークショップで設定された避難路に対し部分改良してきたが、今後拡幅やのり面保護で安全に避難できるように対策を講じていく。

町内5つの避難重要橋があるが、中でもマリ

パーク大橋第2については落橋すると避難の道が断たれるので、国の手法に基づき、耐震事業を進めたい。

質問 地震発生後の要

援護者支援の仕方について伺います。

答弁 総務課長

要援護者台帳を作成し自主防災会に配布、災害時自主防災で共助支援して頂きたい。

地域の連携を図り、防災グッズや救済資材を整備して、自主防災会の自立をのぞみます。

質問 孤立の可能性のある地域と町の災害時の

通信手段の方法はありますか。

答弁 総務課長

6月末予定の自主防

答弁 総務課長
防災無線、77子局のうち地域的に31局がアンサーバック機能付き無線電話が設置され、停電でも120分連続通話ができる機能を持ち町内放送もできる。
鍵は区長及び会長宅に保管、有事の際は活用できる。

質問 食料備蓄は、するのかもしれないのか。



切目川河川改修

災協議会に諮って判断したい。倉庫備蓄と判断した場合でも耐震など高額の倉庫にしなくても保管可能。

質問 最大16mの津波に

対する避難経路や緊急避難場所、又訓練の仕方も変わってくるが、その対策や指示は。

答弁 総務課長

自主防災協議会で伝達し、各防災会で課題を検討して頂き、ワークショップを開催し、町内避難計画を作成する。

質問 切目川河川改修に関する防災防火水源取水場所の設置要望について伺います。

答弁 総務課長

河川替えにより消防水利がなくなる地区があります。防火水槽の設置を建設課から県へ要望しています。

答弁 建設課長

消防水利については、切目川ダム事務所へ要望しています。要望を伝えながら対応していきます。



委員会活動報告

総務産建常任委員会

防災関連事業について、平成24年5月10日、印南町役場3階会議室にて総務課から説明を受けました。

・家具店転倒防止器具設置事業

平成22・23年度で1,420世帯、約46%に設置（緊急雇用創出事業）。

平成24年度は金具の支給を実施（きのくにパワーアップ補助対象1/2）。

・デジタル防災無線アンサーバック屋外子局増設

災害時の通信手段の確保を図るものであるが、本部操作卓（役場の作動が必要であり、代替え施設等への操作卓整備の必要があります）。

・自主防災組織設立

平成23年度自主防災組織連絡協議会設立。

平成24年度総会の開催、事業計画の決定等活動が遅れているもので、早急な対応が望まれます。

ワークショップ等重要事業が計画されているため、地区防災会への呼びかけもあわせて実施しなければ避難道整備等への影響が懸念されます。

・災害時の食糧対策

自主防災会で方法等を検討していただき、対策を講じていきたいとの説明。

委員会では町の方針等早急に決定し自主防災会で協議、予算措置を講じる必要があると考えます。

・緊急防災・減災事業

避難道整備や橋りょう耐震化に事業計画

（平成24・25年度）を提出し計画的に実施していく方針である。

庁舎移転にかかる経費についても対象となるものであるが、国の財源規模及び現在の要望額から判断した場合、活用はできないものと考え、その他の財源の検討を要するもの

です。何れにしても、対応が遅く、庁内での方針決定がさ

れていないことが問題と考えます。



・現庁舎機能の維持

庁舎移転計画の決定が遅れているため、代替え施設等の確保が急務です。

総務課では、あけぼの交流センターを予定

しているようですが、庁内の協議ができておらず、関連設備の整備には相当の時間を要する見込みで、場所決定についても微妙です。



(委員長所見)

委員会では、関連する事業について質疑をおこない現状を確認するとともに、今後実施予定の事業について具体的な説明を期待したところではありますが、明確な説明は得られませんでした。

文教厚生常任委員会

国民健康保険事業について、平成24年4月27日、印南町役場3階会議室において担当課の住民福祉課より説明をうけました。

① 特定健診事業について

印南町特定健康診査等実施計画にもとづき、平成20年度よりメタボリックシンドロームに着目し、将来の医療費削減効果を期待し、特定健康診査及び

特定保健指導を実施しているものである。

特定健診の受診率の動向については、上昇しているものの計画最終年度である平成24年度の目標値である65%は困難な状況となっており、後

期高齢者医療支援金が加算される可能性があり国保財政への影響も懸念されるものです。

ちなみに、平成23年度の受診率は、県内30市町村中印南町は5位で31%の受診率となっています。また、検診結果主要疾病では、「高血圧症」「高脂血症」「腎疾患」の割合が大きくなっています。

② 保険財政の現状について

一人当たりの医療費は、年々増加しており、疾患別医療費の動向では、1位「がん」、2位「高血圧」、3位「糖尿病」となっており、糖尿病について増加の傾向にあります。

また、近年、高額医療の増加が顕著であり、国保財政を圧迫している大きな要因となっており、今後、国保会計が赤字決

算となる可能性が非常に高いもので、財政基盤の安定を図る必要があります。このような国保財政の状況は、単年度だけではなく今後慢性的にかかえる課題であり、国保税の税率改正が必要となってくるもので、平成25年度からの引き上げを検討しています。

また、国保基金残高も少なく、福祉基金からの繰入についても将来の国保財政基盤の安定のため検討する必要があります。

③ 国民健康保険法改正について

今後の国保広域化（県単位の連合）を視野に入れた法改正であり、今回の改正は保険基盤安定制度、高額医療費共同事業、保険財政共同安定化事業の恒久化を図るもの。

また、療養給付費等

負担金の国庫負担率を2%下げて32%とし、都道府県調整交付金の補助率を2%増やし9%にするものです。何れにおいても、国による負担を軽減し、都道府県、市町村への財源移譲を図るもので今後においてもこのような法改正は段階的に実施されることも考えられます。

(委員長所見)

特定健康保険事業について、検診率の向上や保健医療の充実で初期治療が進み、喜ばしいことではあるが、医療費の増加に伴い、町民の負担が増えてきている。

就労継続支援A型事業所 ワークメイト印南

学び合い・気づき合い
働くよろこびを共に・・・



(お問い合わせ先) 住所：印南町印南 4485 TEL：42-1186 FAX：42-1206

事業種別

就労継続支援A型事業所
(平成23年2月開設)

事業紹介

障がいの種別を問わず、働く意欲のある障がい者の方と雇用契約を結び、元気に明るく働くことができる環境づくりを実践しています。

ワークメイト印南の特長は、紀州きのご園印南工場内に事務所を置き、一般社員と協働し、障がいの有無に関わらず「学び合い・気づき合い」ながら、共に人間性の成長を計ります。

作業内容

- ・きのご培養工場内におけるきのご栽培関連請負作業
- ・培養補助
- ・きのご収穫
- ・ポット洗浄
- ・シール貼り
- ・清掃
- ・その他付帯受託業務

頑張ってます!

メンバーの声

- 任せてもらえる仕事ができ、仲間と作業できることが嬉しい。(Nさん)
- 車で通勤したい。教習所へ通っています。(Aさん)
- お給料をもらえた時、何を買おうか考える時が幸せ。(Oさん)
- 社会の一員になって役に立つ人になりたい。(Tさん)
- 漢字検定準2級に挑戦。パソコン技能大会に出場します。(Tさん)

一年を振り返って

いつも会社へのご理解を頂きありがとうございます。開設して一年が過ぎ、仕事内容や時間を意識して皆で協力することができるようになりました。一人一人の成長を感じます。

今後も地域の皆様に喜んで頂ける会社作りを目指してまいりますので、ご支援のほどお願いいたします。

あてがき

町長が就任されて、はや5ヶ月となりました。議会は、住民の皆さんの声をしっかりと聴き、町政に反映させてまいります。

議会広報特別委員会

委員長 杉谷 考
副委員長 榎本 一平
委員 村上 誠八
委員 井上 利夫
委員 藤山 徹